



保健行事終わる！

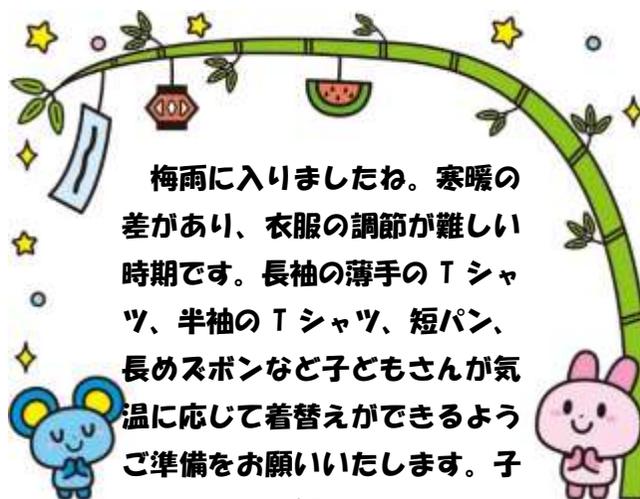
5月29日(水) 栗石町保健センターから歯科衛生士さんと保健師さんが来園。あおぐみさんときいろぐみさんは、歯ブラシ指導を受けました。甘い飲み物には、たくさんお砂糖が入っていることや、正しい歯みがきの仕方をお勉強しました。あおぐみさんは、歯の染め出しも体験しました。

6月4日(火) 上原小児科医院より上原先生が来園。町の健診等でお世話になっていることもあり、ほとんどの子がにこやかに検診を受けていました。「みんな元気ですね。」と太鼓判を頂きました。

6月12日(水) マキ歯科クリニック上野牧子先生が来園。歯が生えただけのたまごぐみさんから大人の歯に生え変わりはじめたあおぐみさんが検診を受けました。「仕上げ磨きがしっかりできているのでむし歯が年々へっていますね。これからも歯みがきをがんばってください。」とのお褒めのことばを頂きました。

6月19日(水) あかぐみ歯ブラシ指導 看護師が行いました。子どものさんたちの検診の様子は、各クラスのお手紙をご覧ください。

また、今年度歯科検診の結果の配布が遅くなりました。申し訳ありませんでした。歯科での診察が終わりましたら診断結果を園まで提出していただきますようお願いいたします。



梅雨に入りましたね。寒暖の差があり、衣服の調節が難しい時期です。長袖の薄手のTシャツ、半袖のTシャツ、短パン、長めスポンなど子どもさんが気温に応じて着替えができるようご準備をお願いいたします。子どもたちは、汗をたくさんかきます。冬場より一枚多めに着替えの補充をしましょう。

感染性胃腸炎に注意！

じめじめしたこの時期。胃腸炎が心配です。下痢をしたり、嘔吐をした場合回数や、熱の有無にかかわらず、自宅での食欲、顔色、いつもと同じように遊べるかなど体調の観察をしていただきますようお願いいたします。病院受診をした際には、必ず診断結果をお知らせください。石鹸を使った手洗いもお願いします。



歯の健康管理

むし歯予防

どうしてむし歯になるの？

むし歯は、口の中にある細菌が砂糖を利用して、ねばねばしたフラークを作ります。そのフラークが歯に付着した後、このフラークの中で、再び細菌が砂糖を取り込み、歯を溶かす酸を産生してしまうことによって起こります。

むし歯はどうやって予防すればいいの？

むし歯を予防する基本は、細菌を取り除くための「歯みがき」と細菌のエネルギー源となる砂糖の摂取のコントロールです。

歯みがきに関しては、低年齢だとなかなか難しいことも多いため、かかりつけの歯科医院を見つけて、その年齢にあった歯みがきの方法やむし歯になりやすい部分のケアについて指導してもらおうとよいでしょう。それに加えて歯の質を向上させるフッ化物の応用など専門的なケアについても発育状態を確認しながら検討していきましょう。

7月の乳幼児健康診査

- 5日((金) 1歳6ヶ月児健診
- 12日(金) 乳幼児健康診査
- 19日(金) 3歳6ヶ月児健診
- 24日(水) 赤ちゃん相談
- 26日(金) ことばの相談
- 30日(火) 3歳歯科健診

詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

